

# 爆音映画祭

BAKUON FILM FESTIVAL

爆音映画祭2016 特集タイ | イサーン

BAKUON  
FILM FESTIVAL  
THAI-1SAN  
SPECIAL



イサーンの人々は、  
日常生活に生きているだけでなく、  
スピリチュアルな世界にも生きています。

そこでは、  
単純な事柄が魔法になるのです。

アビチャッポン・ウィーラセタクン  
(『光りの囃子』公式インタビューより)



2016.SEP27TUE-OCT01SAT  
SHIBUYA WWW WWW X

主催：boid、空族、Soi48

協力：WWW、Thai Film Archive、Donsaron Kovitvanitcha、Nonzee Nimibutr、ムヴィオラ、トモ・スズキ・ジャパン、オリエンタルブリーズ、コミュニティシネマセンター

助成：国際交流基金アジアセンター 協賛：MotionGallery



## INTRODUCTION

山梨に住むタイ人とブラジル人と日本人の現実を思いもよらぬ視線によって描き出した映画『サウダーチ』から5年。

その間タイの地に拠点を移していた製作集団「空族」が、ついに新作を作り上げた。

そこにはイサーンと呼ばれるタイの東北部のミュージシャンたちが出演しているという。

タイの歴史のさまざまな闇をくぐり抜けてきた彼らの音楽は、過去と現在と未来とをひとつの音のうねりの中に巻き込んで、時間と空間をなきものにする。西洋の基準としての時間と空間を台無しにすると言ったらいいか。

そしてより親密でより過酷でより猥雑でより深い愛の物語を生み出していく。

2016年の爆音映画祭はそんな音と映画を特集する。

渋谷の街をイサーンの森の深い闇が覆う。その闇の中でわたしたちはいったい何と出会うだろうか。

樋口泰人

(boid/爆音上映&爆音映画祭プロデューサー)

タイの約三分の一を占めるイサーン地方。その文化は、もはやバンコクとは全く別物。

アピチャップンはそこを感覚的な場所だという。イサーン人はすぐに踊り出す。

農閑期、モーラム楽団はイサーン中を巡り、220Vの高電圧爆音スピーカーで朝まで8時間鳴らし続け、数千の客が踊り狂う。世界中の音楽を掘りまくってきたSoi48の二人と出会ったとき、もうイサーンしかありません、と彼らは大真面目に言った。

更に、バンコクの人間には絶、対、に会わないというイサーン映画のキングの話もしてくれた。

こうして、『バンコクナイツ』はイサーン映画になっていった。

爆音タイ、否、“爆音イサーン映画祭”。ついに、楽園の全貌が明かされる！！

富田克也

(映画監督家)

タイ音楽ことにイサーン人の音楽の素晴らしさは＜自分達の音楽＞を気負わず綿々とやっていることだと思います。

Soi48と組んで発表しているエム・レコードのタイ音楽アーカイブは、一個のアーティストの生(せい)を捉えたいと考え、

同時に音楽のヤバさを示し、病み付きになる人を増やしています。

しかし一方で、モーラムにルークトゥン、あのようなソウル音楽を生み出す彼らは何者なのか？

という問いを我々は常に抱えています。

音楽側から言えば、今回の爆音映画祭、そして空族『バンコクナイツ』で、その問いを解く手がかりが得られるはずです。

ライブでは本物のモーラムが演じられます。

これらの体験は、ただただ我々がこの先聴くタイ音楽をこの上なく豊かにしてくれると思います。

江村幸紀

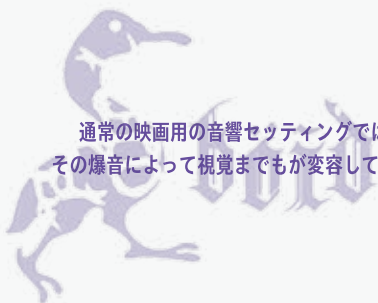
(音楽プロデューサー/エム・レコード主宰)

## 爆音上映とは

通常の映画用の音響セッティングではなく、音楽ライブ用の音響セッティングをフルに使い、大音響の中で映画を見・聴く試みです。その爆音によって視覚までもが変容して見える。大音響でなければ聴こえてこない幽かな音を聴くという、大胆かつ繊細な上映となります。

爆音上映&爆音映画祭 HP [www.bakuon-bb.net](http://www.bakuon-bb.net)

boid HP [www.boid-s.com](http://www.boid-s.com)





## イサーンとは

タイ東北部の名称。タイ王国の人口は約6,817万人。

イサーンの人口はタイ王国総人口の約三分の一を占める。イサーンはラオスとカンボジアに隣接している。

北部はイサーン語と呼ばれるラオス語に近い言葉が使われ、南部はクメール系住民が住んでいる。

食文化も中央と異なりソムタム、ガイヤーン、カオニャオなどが有名である。

豊かとは言えない不安定な土地での農業従事者が多いため、低所得者が多くバンコクに出稼ぎに行く者が多い。

バンコクではタクシー運転手、土木現場の作業員、飲食店、水商売に従事する者が多く、

中央タイ人の差別対象として見られることも少なくない。

そんなネガティブなイメージがつきまとうイサーンだが、非常に豊かな娯楽文化を持っていた。

60年代からイサーン人をターゲットにした映画、音楽が大量に作られていたのだ。

近隣諸国のラオスや、ミャンマーは自国でレコードを制作する豊かさを持っていなかった。

カンボジアはポルポトの影響でポップス産業に空白期間が生まれている。

そんな中イサーンは語り芸モーラム、イサーン語の歌謡曲ルークトゥンのレコードや

大衆映画を大量に制作していたというから驚きだ。

何故豊かと言えないイサーン人にこのような文化が根付いているのか？その答えは簡単だった。

タイを代表するプロデューサー、ドリ・ウィタノンはこう言っている。

「イサーン人は娯楽のための金を惜しまない。たとえ1日働いた稼ぎが消えようと金を払う」と。

つまり単純に娯楽が好きなのだからである。

今回紹介する映画はイサーン人のための大衆映画、イサーン人の境遇を描いた社会派映画がラインナップされている。

様々な角度から描かれたイサーンを体感してもらいたい。

そしてアピチャッポン・ウィーラセタクン、

空族の映画『バンコクナイツ』の重要キーワードとしてでてくるこの土地の魅力がわかるはずだ。

Sai 48

宇都木景一 & 高木紳介

【ルークトゥン】

60年代から盛んになったタイ独自の大衆歌謡で、元々は農村や田舎を題材にした歌詞に基づいて命名され、特定の音楽形式はない。その後発展に従いタイの民謡、ラムウォン、欧米ポップス、ラテン、インド、日本、中国、ハワイ音楽などを吸収して巨大ジャンルとなった。

【モーラム】

モーは達人、ラムは声調に抑揚をつけながら語る芸能。つまり「語りの達人」で、その歌手と芸能の両方をさす名称。モーラムは「歌」ではない。

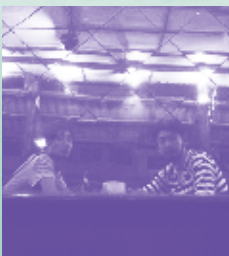
Soi48

www.soi48.blogspot.jp

空族・Sai48連載中!

boiDマガジン

www.boiD-mag.publishers.fm



タイ音楽を主軸に世界各国の音楽を発掘・収集するユニット。MARK GERGIS(SUBLIME FREQUENCIES)、BRIAN SHIMKOVITZ(AWESOME TAPES FROM AFRICA)、MAFT SAI(PARADISE BANGKOK)との共演、東南アジアでのDJツアーや、EM Recordsタイ作品の監修、空族の新作映画『バンコクナイツ』音楽監修、『CDジャーナル』やboiDマガジンにて連載中。2014年にはモーラム歌手アンカナン・クンチャイの来日招聘。トークショーなどタイ音楽や旅の魅力を伝える活動を積極的にやっている。ユニット名と同じSai48という名前がトルコ、インド、パキスタン、エジプト、レバノン、エチオピア……などのレコードがプレイされる世界でも珍しいパーティーを新宿歌舞伎町にて開催している。

爆音上映の企画や映画配給、書籍・音盤の製作を手掛けるboiDがお届けするWEBマガジン。多彩な連載陣が日常の中で生み出す批評、エッセイ、日記、映像、写真などさまざまな作品を発表。また、映画批評「映画川」では複数の執筆陣が今だからこそ観ておくべき映画を紹介してくれます。更新は毎週末を目安(月4回)に行い、月に20本の記事(作品)を掲載します。過去の記事は「バックナンバー」から常時間閲覧可能。2014年4月号のみサンプルとして、読者登録をされていない方もご覧いただけます。

発行頻度:月4回(月20本の記事) 発行責任者:boiD  
読者登録:誰でも読者登録可能 月額購読料:月額800円(税別)



# 0927.TUE MOLAM SPECIAL

18:30 OPEN  
19:00 START



今回を逃したら二度と  
体験することのできない  
組み合わせが実現!

## アンカナン&プロイ・クンチャイ ANGKANANG KUNCHAI & PLOY KUNCHAI

1956年生まれ。アムナートチャルーン  
県出身の女性モラム歌手。チャウィー  
ワン・ダムヌーンに師事。1972年スリ  
ン・バクシリによって制作され彼女が  
歌ったモラムとポップスを結びつけた  
最初の曲「イサーン・ラム・ブルーン」  
が大ヒット。「イサーン・ラム・ブルーン」  
は2014年にエム・レコードから再発  
されその独特の節回しと美しい声から  
全世界の音楽ファンを魅了した。空族の  
映画『バンコクナイツ』にも出演。今回、  
後継者が少なくなってしまった正統派  
モラムを受け継ぐ貴重な娘弟子プロイ  
との来日公演。人間国宝となった彼女  
による伝統的なモラムとポップスは  
見逃せない。



## ポー・サラートノーイ PO CHALATNOI

1947年生まれ。ウボンラーチャーニー県出身の男  
性モラム歌手。トンカム・パンディーに師事しアン  
カナン・クンチャイと共にウボン・パター楽団で活  
躍。その色気のある喉は唯一無二の存在感を放つ。  
ケーン・ダーラオウき今、残された最後の大物男性  
モラム歌手として日々ライブ、後進の育成に取り組ん  
でいる。今回アンカナンと男女対での人間国宝モラ  
ム同士の掛け合いは要注目。今回待望の初来日。



## ポンサポン・ウパニ PONGSAPON UPANI

1991年生まれ。コンケン県出身のケーン奏者。タ  
イ若手ナンバーワンのケーン奏者として活躍。人間  
国宝であるチャウィーワン・ダムヌーン、アンカナン  
・クンチャイからの信頼も厚い。ケーンだけでなく、  
ピンや打楽器、そしてスタジオ・エンジニアもこ  
なすイサーンの新世代アーティスト。



出演者

アンカナン・クンチャイ&プロイ・クンチャイ ポー・サラートノーイ ポンサポン・ウパニ  
井手健介(トンチャイ・K・ウィーラセタクン)と船船 attc vs Koharu Soi48

映画祭の予習に! Soi48監修タイミュージック

ルークトゥン・イサーンの幕を  
開け。タイ音楽史に残る名盤



アンカナン・クンチャイ  
with ウボン・パターバンド  
『イサーン・ラム・ブルーン』

『バンコクナイツ』出演のモラ  
ム人間国宝アンカナン・クン  
チャイのデビュー・アルバム。伝  
統音楽であるモラムと歌謡  
曲であるルークトゥンを融合さ  
せ大ヒットした名曲「イサーン  
・ラム・ブルーン」は現在に至る  
まで何十回もカバーされている。  
『バンコクナイツ』のエン  
ディング・テーマ曲でもある、こ  
の曲はイサーンの美しさが見事  
に表現されている。

モラムのグループを味  
わいたいならこの1枚



アンカナン・クンチャイ

『みんな、忘れないでね』

世界中のレコード・コレクター  
の間でオリジナル盤の争奪戦  
が繰り広げられる人気アルバ  
ム。70年代後半アンカナン  
が自ら楽団を立ち上げ若者向  
けに踊れるサウンドを追求し  
製作。イサーン人は踊るのが大  
好きなので、人間国宝といっ  
ても客を踊らせないと興行が成  
功しないのだ。9月27日の来  
日公演でもアンカナンは日本  
人を踊らせてくれますはずだ。

田舎者が何が悪い!  
イサーン産土着ルークトゥン



ダオ・バンドン

『コン・キラーン・クワイ(水牛に乗る人):  
エッセンシャル・ダオ・バンドン』

個性的な顔立ちにソウルフル  
な歌声、イサーンの魂を味わい  
たいのなら「水牛に乗る人」こ  
とダオ・バンドン。セックス、ド  
ラック、恋愛、農作業...イサ  
ンの日常を歌い続けた彼のス  
タイルは空族の心をノックアウ  
トした。『バンコクナイツ』の最  
重要シーン?!で流れる「ポン  
チャー・ボン」は危険すぎる内  
容。Soi48による対訳・歌詞を  
要チェック!

イサーンの女バイク番長、  
ここに降臨!



クワンター・ファーサワン

『憎くきモーターサイ:ザ・ベスト・オブ・  
ラム・ペン・シスター・ナン・ワーン』

80年代ダンスホール現場に特  
化した低音プリプリのサウンド  
で人気を集めた女モラム、ク  
ワンター・ファーサワン。バイ  
ク・エンジン音をサンプリングし  
て製作された暴走族モラム  
曲「憎くきモーターサイ」は  
『バンコクナイツ』挿入歌。イ  
サーンはもちろんバンコクの  
出稼ぎ労働者の間で流行した飾  
りっ気一切無しのカン・ストリ  
ー・モラムがこれだ!

美しいけど踊れる。  
イサーンの美学が凝縮!



バリン・ポー・ピブーン

『ラム・クローム・トゥン〜  
幻の白い鳥』

「幻の白い鳥」は「爆音映画祭  
2016 特集タイ!イサーン」で  
上映された『モンラック・メー  
ナム・ムーン』の主題歌で彼女  
の代表作。アンカナン・クン  
チャイをプロデュースした鬼オス  
リン・バクシリが手がけた名仕  
事である。アフリカ音楽を思わ  
せるポリリズムが曲。『ライバ  
ル・ダンスミュージック』のそ  
の他の曲などデビュー・ソニー  
な楽曲を大量収録。

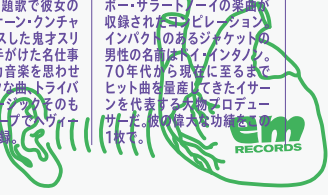
イサーン賛歌!  
「バンコクなんて嫌いだ」収録!



V.A.

『ドイ・インタノンの仕事:  
イサーン・ポップス名作選』

9月27日にアンカナン・ク  
ンチャイと共に来日公演をおこ  
なう人間国宝男性モラム歌手  
ポー・サラートノーイの楽曲を  
収録されたコンピレーション  
アルバムの名曲「ドイ・インタノ  
ン」の男性の名曲「ドイ・インタ  
ノン」の70年代から現代に至るま  
でヒット曲を収録してきたイ  
サーンに代表する大物プロデ  
ューサー。数々の偉大な功績を  
1枚で。





# 0928.WED

## 爆音社会派映画特集



14:20 OPEN/14:50 START(～15:53終映予定)

### 『トーンパーン』

Tongpan

1976年/タイ/63分/デジタル  
監督:ユッタナー・ムクダーサニット、スラチャイ・ジャンティマートン、ラッサミー・パオル  
アントーン、パイジョン・ライサグン  
脚本:カムシン・シーノック、ウィットヤー・ゴーン・シアングーン、パイジョン・ライサグン、  
マイク・モロー 撮影:フランク・グリーン 音楽:スラチャイ・ジャンティマートン  
出演:オンアット・マニーン、ポムホーム・ピラソックバット、スラチャイ・ジャンティ  
マートン 提供:Multimedia Thailand © The Isan Film Group

1976年制作、イサーン人農夫の生活と苦悩を描いた社会派映画。75年に実際に問題となったルーイ県のダム建設問題を題材に白黒16mmで撮影。主人公のトーンパーンは妻と2人の息子がおり、生きるために農作業だけでなくムエタイの試合に出場したり、サムロー(人力三輪車)の運転手をしていたりする。たださえお金がないのにもかかわらずダム建設で人生が一変する。民主化運動が高まり、共産主義者が隠れることとなったイサーンが舞台のために当時タイ政府から上映が禁止になったという幻の問題作。しかし海外では、その心に迫る生々しい映像から高評価を得てアジア・アメリカ・インターナショナル・フィルム・フェスティバルでオスカーを受賞。その後『蝶と花』、『メナムの残照』を残しタイ映画の巨匠となったユッタナー・ムクダーサニットの貴重な初期作でもある。(宇都木景一)

※現存するマスター起因により上映素材の映像・音声の状態が悪くお見苦しいことを、予めご了承ください。



16:15 OPEN/16:45 START(～18:55終映予定)

### 『東北タイの子』

A Son Of The Northeast (Luk E-Sarn)

1982年/タイ/130分/デジタル  
監督:脚本:ウィット・クナーウット、ウィット・クナーウット 撮影:ポンティ・ヴィ  
ラヤシリ 音楽:カニット・クナーウット 出演:トーンパーン・ポーン・トーン、ワンブーン・  
シリテーブ、クライラート・クリアンクライ  
提供:Five Star Production © Five Star Production Co., Ltd.

乾いた大地に照りつける太陽。イサーン地方は豊かな自然を誇るタイにおいて早魃と水害が交互にやってくる不毛の土地と名高い土地だ。(現代のイサーン地方の早魃は高度経済成長期の日本をはじめとする海外ODAの製紙産業による森林伐採が弊害となっていることはあまり知られていない)荒野を進む村人達のキャラバンは、新しい土地を求めて旅立ってゆく。80年代に撮られたとは思えない幻想的な村の人々の暮らしは、自然とともに生きその厳しさの中で培ってきた喜びをおかしみを持ってわたしたちに訴えかける。83年にマニラ映画祭で審査員であった大島渚が本作『東北タイの子』を絶賛したのは、そこによりも“生命の躍動”が描かれていたからであろう。注目はやはり村に錦を飾るモームだ。登場するアンポンはこのたび来日するアンカナン・クンチャイにも影響を与えたモームの詠い手である。進化を続けるイサーン音楽、モームにぜひ体を揺らしていただきたい。(相澤虎之助)



19:15 OPEN/19:45 START(～21:49終映予定)

### 『タクシードライバー』

The Citizen

1977年/タイ/124分/デジタル  
監督:脚本:撮影:チャトリ・チャラーム・ユコーン 音楽:ピセツ・サンスワン  
出演:ジャット・ボン・アピロム、ピンロー・バーンヌイ、ウィヤゲー・ウマリン  
提供:Five Star Production © Five Star Production Co., Ltd.

プリンス・チャトリ監督は留学先のUCLAでフランシス・F・コッポラやロマン・ポランスキーらと共に映画を学んだタイ映画を代表する作家である。王族でもあった彼はそれまでのタイ映画にあまり見られなかった“社会派”の作品を次々に生み出した。本作『タクシードライバー』は、ベトナム戦争時に兵站としてイサーン各地に造られた米軍基地(そこからベトナム、ラオス、カンボジアに爆撃機が飛び立っていった)のGIに妻を奪われ、ひとりバンコクに出稼ぎに出たイサーンの若者が主人公だ。中央タイ映画において初の試みといってよいイサーン語(ラオス語)を喋る主人公が登場したこの映画は公開時にはタイ語の字幕が付けられた。現在でも中央バンコクと地方イサーンでは厳然たる差別が存在する。スラムに響く故郷のケーンの色音の中で、人間の尊厳を奪われたひとりの男が立ち上がる。『ハーダー・ゼイ・カム』、スコセッシの『タクシードライバー』と時を同じくして。(相澤虎之助)

# 0929.THU

## 爆音大衆映画特集



14:00 OPEN/14:30 START(～16:35終映予定)

### 『花草女王』

Rachinee Dok Ya

1986年/タイ/125分/デジタル  
監督:スラシー・パークタム  
脚本:スバルーク・クライルーク 音楽:ポンサック・チャンタルッカー  
出演:フロムボン・ノッパリ、チャウィー・ワン・ダムヌーン、トーンカム・ベンディー  
提供:SF Cinema City © Suwat Thongrompo

モーム楽団をコンテストで優勝させるためにバンコクの青年とイサーン人達が知恵を絞って伝統音楽を進化させる音楽映画。社会派映画と異なりバンコクとイサーンの格差、都会と田舎の文化の違いを面白く軽快に描いている。『モンラック・メナム・ムーン』で監督をつとめたポンサック・チャンタルッカーが音楽を監修し、臨場感あふれる当時のライブの様子、スタジオ風景が映っている。そして伝説のモーム楽団、ランシム楽団のチャウィー・ワン・ダムヌーンとトーンカム・ベンディーがコンビで出演。バンコク青年にモームの基礎を教え込むために様々なモームの型を披露するシーンはこの映画の見所だろう。製作された86年から現在に至るまでイサーンの野外映画やお祭りで上映され、娯楽を愛すイサーンの心をつかんだ人気作。単純で解りやすいストーリーは心地よさ200%。(宇都木景一)

※現存するマスター起因により上映素材の映像・音声の状態が悪くお見苦しいことを、予めご了承ください。



17:00 OPEN/17:30 START(～19:17終映予定)

### 『ルークトゥン・ミリオネア』

Looktung Millionaire

2013年/タイ/107分/デジタル  
監督:ガン・ホンラッタナーポーン 脚本:ヌット・ヌアンペーン 撮影:ソンプーン・ポー  
ピタック 音楽:ナルボン・バートン 出演:インリー・シーチュムボン、ブルーベ  
リー、スナーリー・ラーチャーシマー 提供:M Pictures © M Pictures

レコード・レーベルの枠を超えて現在大活躍しているルークトゥン、モーム歌手が大集合した音楽コメディ。歌手軍団がお寺へお参り行く際に、寄付金が盗まれて、みんなで泥棒探すなんともタイらしいストーリー。インリー・シーチュムボン、ブルーベリー、クラテーなどタイのTV、ラジオ、街角で流れている有名歌手がズラリ。そして今や大物になってしまったワールド・ミュージック世代のアイド

ル、チンタラー・ブンラブ、スナーリー・ラーチャシーマーも出演し脇を固めている。時代が変化しても、その時代の流行を取り入れ発展し続けるルークトウンの世界。その雑食性と娯楽性が見事に表現されている。堅苦しいこと言わないで観て笑う。タイという国に日本人が惹かれる理由がこの映画にあるのかも知れない。(宇都木景一)



19:15 OPEN/19:45 START(～22:30 終映予定)

## 『モンラック・メナム・ムーン』

Mon Rak Maenam Moon

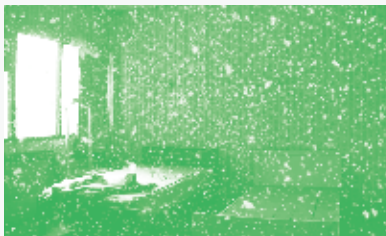
1977年/タイ/149分/デジタル  
監督・脚本:ポンサック・チャタルッカー  
脚本:ニフット・シンパソムサクク 音楽:スリン・パクシリ  
出演:ノンパット・メータニー、ナオワラット・ユククタナム、ノバドン・ドウアンボン  
提供:Boonserm Kietningmongkol © Boonserm Kietningmongkol

70年の伝説的音楽映画『モン・ラック・ルークトウン』のヒットを受け制作された幻のイサーン映画。ウボンラチャターニを流れるムー川を背景にイサーン人の生活を描く。ダオ・バンドン、テッポーン・ベットウボン、シープライ・チャイプラなどルークトウン、モームラム歌手が大集合。イサーンのコメディ王ノバドン・ドウアンボン、電気ピンを発明したトーンサイ・タブアノンが所属するお笑い楽団ベットピントーンも映画に華を添える。イサーン音楽の重要人物であり作家でもあるポンサック・チャタルッカーが監督となり、音楽プロデューサーのスリン・パクシリに「イサーン版『モン・ラック・ルークトウン』を製作してくれ」と依頼。イサーン音楽界が総力をあげて製作した傑作音楽映画。(宇都木景一)

※現存するマスター起因により上映素材の映像・音声の状態が悪くお見苦しいことを、予めご了承ください。

# 0930.FRI

## 爆音アピチャッポン特集



14:30 OPEN/15:00 START(～16:39 終映予定)

## 『アートプログラム<中・短編集>』

2005-2010年/イギリス・韓国・日本・フランス/99分/デジタル  
監督:アピチャッポン・ウィーラセタクン 提供:トモ・スズキ・ジャパン

## 『Worldly Desires』(2005年/42分32秒) 韓国

「チョンジュ映画祭」の企画『三人三色』で制作。

『エメラルド』Emerald(2007年/11分)閉館してしまつたバンコクのエメラルド・ホテル。その場所の記録と記憶。

『My Mother's Garden』(2007年/6分42秒) ディオールデザイナーがもつ宝石コレクション。それに母の庭のイメージを重ねて撮影。

『ヴァンパイア』Vampire(2008年/19分)「旅」をテーマにした映像作品を依頼され、自ら出かけたタイとミャンマーの国境付近にはヴァンパイア鳥の伝承があり…。

『ナブアの亡霊』Phantoms of Nabua(2009年/10分43秒)映像インスタレーション「プリミティブ」プロジェクト(09)と同時制作。

『木を丸ごと飲み込んだ男』A Man Who Ate an Entire Tree(2010年/9分)タイの野生林で伐採を始めた男は、やがて、自然のドラッグ作用で自分をコントロールできない状態に…。

展示用に作られたインスタレーション作品や、韓国全州国際映画祭からの依頼で作られた『Worldly Desires』など、2005年から2010年の間に製作された中・短編集。ちょうどアピチャッポンの名前が世界的に周知始められ、長編をコンスタントに発表していた時期。ここで行った実験が長編に反映され、そしてまた、長編での成果がここにフィードバックされる。それはアピチャッポンの映画の帰るべき場所でもあり、あらゆる場所への出発点とも言える場所でもある。そんなアピチャッポンの思考の広がりや、ここに見て取れる。試されているのは、大きく分けて、光と音と時間。映画を作り出す3大要素と言えるものだが、長編での「物語」の縛りから解放されているゆえ、映画はストレートにその3つに向き合う。まったく音のない作品もある。だがそこに描かれた光と時間からは、確実に音が聞こえてくる。映画を幻視し、幻聴し、未曾有の時間を体験する99分間。(樋口泰人)



17:15 OPEN/17:45 START(～19:47 終映予定)

## 『光りの墓』

Cemetery of Splendour

2015年/タイ/イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/122分/デジタル  
監督・脚本:アピチャッポン・ウィーラセタクン  
撮影:ディエゴ・ガルシア 音楽:アックリット・チャルム・カンラーナミット  
出演:ジェンジラー・ボンパット・ワイドナー、バンロップ・ローム・ノイ、ジャリン・パットラー・ランラム 提供:ムヴィオラ © Kick The Machine Films/ Illuminations Films (Past Lives) / Anna Sanders Films/ Geißendörfer Film-und Fernsehproduktion / Match Factory Productions/Astro Shaw (2015)

イサーン地方の森を舞台にした『ブンミおじさんの森』から約5年。アピチャッポンの今のところの最新長編は、自身の故郷であるイサーン

ン地方のコーンケンを舞台にする。医者だった両親の思い出が、そこには込められている。しかし眠り病に冒されベッドに横たわる兵士たち、彼らが入院している病院の地下に眠るかつての王宮、そして見えない地下宮殿を案内する、男性が乗り移った女性など、思わぬ着想に誰もが驚くだろう。それはもちろん単に奇をてらつたものではないことは、映画を見ればわかる。現在のタイの情勢、かつて起こつたこと、これから起こるかもしれないこと。それらによって「必然的に」兵士たちや宮殿のエピソードが湧き出てきたのだ。イサーンという場所の土地に沈殿した時間が、この映画を作つたのとも言える。「そこでは、単純な事柄が魔法になる」と監督が語るイサーン地方へ向けた言葉は、そのまま彼の映画作りにつながっていくだろう。(樋口泰人)



20:10 OPEN/20:40 START(～22:10 終映予定)

## 『アイアン・プッシーの大冒険』

The Adventure of Iron Pussy

2003年/タイ/90分/デジタル  
監督・脚本:マイケル・シャオワナーサイ、アピチャッポン・ウィーラセタクン  
撮影:スラチエ・トーンミー 音楽:Animal Farm 出演:マイケル・シャオワナーサイ、グリッサダ・スゴソン、ティーンラット・トーンジッチイ 提供:GMM GRAMMY PUBLIC COMPANY LIMITED © Kick the Machine Films

2003年の東京国際映画祭他で上映されて以来、しばらく日本では見るのでできなかった本作。フィラデルフィア出身のマイケル・シャオワナーサイが1999年から制作を始めた「アイアン・プッシー」シリーズの1本として作られたもので、アピチャッポンとシャオワナーサイの共同監督作品となる。ミュージカル・アクション・コメディという説明がされてはいるが、とにかくアピチャッポン・ファンにとっては、その他の作品とは全く違うアピチャッポンの映画を観ることのできる貴重な作品。バンコクのセブンイレブンでバイトをしている男が実は女装スパイ(シャオワナーサイが演じている)であるという設定や、告知用の写真から想像されるえげつなさはもちろん、音楽でグイグイ攻めてあらゆる意味不明の唐突さを納得させてしまう力技など、見どころツッコミどころ満載。アピチャッポンの映画に見ることのできる惚けたカットや音楽の使い方のコアが、ここにある。(樋口泰人)





# 1001.SAT

16:30 OPEN / 17:00 START

## WWW X OPENING SERIES

### スペシャル・イベント『バンコクナイツ』東京プレミア爆音上映

出演者

ミニライブ:stillchimiya トーク:空族,Soi48,樋口泰人,その他予定 DJ:Soi48

第69回  
ロカルノ映画祭  
「若手審査員  
最優秀作品賞」  
受賞! (Junior Jury Award)



### 『バンコクナイツ』 Bangkok Nites

2016年/日本・フランス・タイ・ラオス/182分/デジタル  
監督:富田克也  
脚本:相澤虎之助、富田克也  
撮影:スタジオ石  
音楽:山崎巖、YOUNG-G、Soi48  
出演:スベンジャ・ボンコン、スナン・プー・ウィセット、  
チュティパー・ボンピアン、クンヤラット・コンブー、  
サリンヤー・ヨンザワット、  
伊藤仁、川瀬雄太  
提供:空族 © Bangkok Nites Partners 2016

#### —— 私の何が悪い? 歴史に翻弄された一人の娼婦を軸に描かれる禁断のラブストーリー

こちらは、タイ、バンコク。日本人専門の歓楽街“タニヤ”。“カラオケ”と呼ばれる、昭和の匂い漂う日本式ホステスクラブがひしめく夜の町。ひな壇にズラリ並びタイ人の女たちは毎夜、流暢な日本語で迎えてくれる。ロング3500パーツ、ショート2500パーツ。ゲンチツマ?すべては金次第。1970年代、好景気に沸く日本企業は、安い労働力を求め続々とタイに進出、大量発生した日本人駐在員たちを相手客に、タニヤ通りは夜の町へと変化していった。娼婦と客、女と男。“タニヤ嬢”ラックと元自衛隊員のオザワ、ふたりの逃避行を描くロードムービーにして、それを取り巻くタニヤ嬢たちと、バンコクに蠢く怪しい日本人たちの欲望渦巻く群像劇!

#### テーマは“娼婦・楽園・植民地”総移動距離4000kmを超えるタイ、ラオスオールロケ

本作は、前作『サウダーチ』で、地方都市のリアルを“土方・移民・ヒップホップ”をテーマに描き、話題となった映画制作集団「空族」の最新作となる。構想10年。舞台を山梨からタイに移し、入念なりサーチを重ねて行く過程で、出会った現地の人々との交流、そこで知りえた歴史的事実を知る中で、物語は重層的に響きあう182分の映画として完成した。

今回、初映画撮影となる映像制作ユニット「スタジオ石」をカメラに迎え、バンコク、イサーン(タイ東北地方)、そして秘境ラオスへの、総移動距離4000kmを優に超える撮影に挑んだ。

イサーンの伝統音楽モーラム、ルクトゥーン、プア・チャーウィット…数々のイサーンミュージック、抵抗の音楽と言い換えることのできる、それら音楽にのせて空族がお贈りする、アジア版「千夜一夜物語」——。

## 2017年2月下旬、テアトル新宿ほかにて全国順次公開!

[www.bangkok-nites.asia](http://www.bangkok-nites.asia)

関連企画

『日本映画の現在』空族特集上映 シネマヴェーラ渋谷  
10月2日(日)~5日(水)

上映作品:『雲の上』『国道20号線』『FURUSATO2009』『サウダーチ』  
『花物語バビロン』『かたがら街』『バビロン2-THE OZAWA』  
宮台真司さん、柳町光男監督をゲストに迎えるトークイベントも開催 詳細はHPにて

[www.cinemavera.com](http://www.cinemavera.com)

山口情報芸術センター[YCAM]関連企画

『バンコクナイツ』ジャパンプレミア“爆音”上映  
9月24日(土) 13:30上映開始

sound tectonics #18 バンコクナイツ・トリビュート・ライブ  
出演者:アンカナン&プロイ・クンチャイ/ポー・サラートノイ/ボンサボン・ウバニ  
9月24日(土) 19:00開演

[空族+スタジオ石+YCAM]新作インストールーション展  
9月24日(土)~11月6日(日) 10:00-19:00 ※火曜休館

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

TIME SCHEDULE

0927.TUE モーラムスペシャル	0928.WED 爆音社会派映画特集	0929.THU 爆音大衆映画特集	0930.FRI 爆音アピチャップン特集	1001.SAT WWW X Opening Series
18:30 OPEN/19:00 START モーラムユニット ライブ 出演者 アンカナン&プロイ・クンチャイ ポー・サラートノイ ボンサボン・ウバニ 井手健介 attc vs Koharu Soi48	14:20 OPEN/14:50 START 『トーンパーン』 (~15:53終映予定) 16:15 OPEN/16:45 START 『東北タイの子』 (~18:55終映予定) 19:15 OPEN/19:45 START 『タクシードライバー』 (~21:49終映予定)	14:00 OPEN/14:30 START 『花草女王』 (~16:35終映予定) 17:00 OPEN/17:30 START 『ルークトゥン・ミリオネア』 (~19:17終映予定) 19:15 OPEN/19:45 START 『モンラック・メナム・ムーン』 (~22:30終映予定)	14:30 OPEN/15:00 START 『アートプログラム<中・短編集>』 (~16:39終映予定) 17:15 OPEN/17:45 START 『光りの墓』 (~19:47終映予定) 20:10 OPEN/20:40 START 『アイアン・ブッシーの大冒険』 (~22:10終映予定)	16:30 OPEN/17:00 START WWW X Opening Series 『バンコクナイツ』 東京プレミア爆音上映 ミニライブ:stillichimiya トーク:空族、Soi48、樋口泰人、 その他予定 DJ:Soi48 会場:WWW X

TICKET

0927.TUE **会場:WWW** モーラムユニット・ライブ券 前売り 3500円/当日 4000円

0928.WED~0930.FRI **映画1回券** **会場:WWW** 前売り 1500円/当日 1800円 **映画3回券** **会場:WWW** 前売り 3600円(前売券のみ)

1001.SAT **会場:WWW X** 『バンコクナイツ』東京プレミア爆音上映券 前売り 2500円/当日 3000円

前売り券 イープラス(<http://eplus.jp/bakuonthai2016/>)、ファミリーマートにて発売中!

※映画1回券及び3回券は9/27(モーラムユニット・ライブ)と10/1(バンコクナイツ)東京プレミア爆音上映には使用できません。 ※出演者については、必ず公式サイトをご確認の上お申し込みください。 ※全ての回ドリンク代別/完全入替制/各整理番号順にご入場いただきます。 映画3回券※引換券の発券となり、チケットは1枚発券されます。初回ご利用時に窓口で1回券×3枚とお引換の上、ご入場ください。 ※整理券は各日、初回上映日の開場1時間前より配布します。ご覧になる上映回毎に整理券を交付にてお受け取りください。 ※当日満席の場合はお立見、あるいは入場できなくなる場合がございますので、お早目にご来場して受付をお済ませください。 問い合わせ:boide@mail: bakuons@boide-s.com/TEL: 03-3356-4003, WWW TEL 03-5458-7685/WWW X TEL 03-5458-7688

会場

Shibuya WWW、WWW X 東京都渋谷区宇田川町13-17ライズビル地下2F 渋谷駅ハチ公口から徒歩7分。旧CINEMA RISE。 WWW TEL 03-5458-7685/WWW X TEL 03-5458-7688 [www-shibuya.jp](http://www-shibuya.jp)



あなたのクリエイティブがここから始まります  
ファンと一緒に自由に創作できる新しい資金調達のカタチと共に

<http://motion-gallery.net>

国内最大級の累積調達額

8.0億円 以上

最高記録プロジェクト

約 4000万円

世界基準の低い手数料

10%

MotionGallery は、あなたのクリエイティブな活動とみんなの共感が繋がることで  
新しいクリエイティブが生まれる、日本最大級のクラウドファンディング・プラットフォームです。  
世界最大級の海外サイトと連携し世界からも応援を集めています。